

第1回 泉中学校統合準備委員会 会議録

| | |
|-----|--|
| 日時 | 平成29年7月26日（水）午後7時～8時16分 |
| 場所 | 赤羽根市民館 会議室 |
| 出席者 | <p>委員（18名）</p> <p>山内敏久、伊藤康弘、太田優彦、藤村孝男、藤村浩仁、前田智恵、小原恵康、山本英里奈、中村文紀、玉越宏利、岩本吉幸、大場佐矢香、山上高弘、立花英夫、山本忠史、赤崎晴彦、伊藤正徳、樽谷哲郎</p> <p>事務局（10名）</p> <p>花井教育長、大根教育部長、伊藤教育総務課長、大堀企画課主任、小久保渥美支所地域課長、荒木赤羽根市民センター所長、矢野学校教育課指導主事、小久保教育総務課課長補佐兼係長、鈴木教育総務課主任、彦坂教育総務課主任</p> |
| 欠席者 | 今原晋平、柴田陽助、太田吉彦 |
| 傍聴者 | なし |
| 事務局 | 開会 |
| 教育長 | <p>あいさつ</p> <p>皆さん、こんばんは。教育長の花井隆でございます。毎日暑い日が続きますが、本日は大変お疲れのところ泉中学校の統合準備委員会にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>赤羽根中学校区と泉中学校区の各コミュニティの会長さん、PTAの役員の皆さん、学校の先生方の参加を得まして、統合準備委員会、そして、それぞれの部会が今後行われていきます。本年度から委員の皆様には大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>平成33年4月の新たな赤羽根中学校のスタートに向けて、残すところ3年と8カ月となりました。泉中学校、赤羽根中学校の統合に関するさまざまな事柄や内容について、お話し合いをいただきます。</p> <p>まずもって、田原市教育委員会が決定したことではございますが、赤羽根中学校区の皆様には、泉中学校区の願いを受け入れていただきまして、大変ありがとうございました。お礼と感謝を申し上げたいと思います。おかげをもちまして、渥美半島は今後しばらくの間は、東部、田原、赤羽根、福江の4つの中学校を維持していけるという見通しが立ちました。小学校につきましては、今までの学校全体配置計画を見直してまいりますということをお願いしたいと思います。</p> <p>今夜参加されます皆様におかれましては、それぞれの立場から御質問や御意見を出していただきまして、子供たちにとって仲間が増えて、学校生活が楽しく充実していると実感できる、そういった中学校の実現に向けてお話し合いを進めていただきたいと思います。</p> <p>なお、福江中学校と伊良湖岬中学校の統合準備委員会や、そちらでの部会での様子等も適宜報告させていただきますので、さらなる情報が必要というような場合には、遠慮なく御要望いただければと思います。今後は学校の行事、学習や生活、部活動、</p> |

| | |
|-----|--|
| | 通学やP T Aなどに至るまで、さまざまな事柄について調整したり、相互理解を図ったりして、新たな赤羽根中学校の実現に向けて、皆様の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 事務局 | 委員紹介・・・自己紹介 事務局紹介 |
| 事務局 | 泉中学校再編整備方針について（資料1により説明） ・資料1 泉中学校再編整備方針 |
| | 《設置要綱（案）について》 |
| 事務局 | それでは、ここから協議事項に入ります。 協議事項1 泉中学校統合準備委員会設置要綱（案）について（資料2により説明） 以上、設置要綱の内容について、何か御意見、御質問等がございましたらよろしくお願いたします。 |
| 委員 | すみません、質問ではなくて、確認という意味でお聞きしたいのですが、今日名簿のほうは初めて確認したのですが、これを見て、ちょっといいかなというのが1点ありまして、実は泉地区の数と赤羽根地区の数のバランスなんですけれども、当然2つの学校が一緒になって新しい学校をつくるという場合、さまざまな決め事があるものだから、当然、第6条の3項になるのですが、「会議の議事は、出席した委員の過半数で決し」とありますね。これは当然、民主主義ならこうなります。自分でもこうしますが、そうなったときに、やはり委員の数というのは赤羽根と泉、両方そろえておくべきではないのかなと自分は思います。もちろん後ろのほうに専門部会で、必要なときには招集できるということにはなっているのですけれども、やはり招集された人と、初めから委員であった人というのは違いがあるというのは、会議の常識かなと思います。ですので、ここでどうこうというわけではないのですが、ちょっと自分が引っかかる点を頭に入れておいていただくとありがたいかなと思います。 以上です。 |
| 事務局 | ありがとうございます。先ほどの赤羽根中学校の伊藤校長先生の御意見、御質問について、何かそれについて御質問、追加質問等はございますでしょうか。 |
| 委員 | 追加というか、それに関係してくるのかもしれませんが、第3条のところに、「委員30人以内をもって組織し」というようなことになっていて、現在の委員は21人、残任というか、残っていくというようなことを考えていったときに、P T Aの会長さん、副会長さんが新たにというようなことで入っていく。それぐらいいいかなというのはあるんですけれども、今ここで見ると赤羽根中学校区の現在の小学校の先生ですか、そちらのほうも入っていないものですから、それを考えていくと、入っていただいたほうがいいのではないかなということと、30人以内をもってというのがあると、なかなかそういったところで人数が調整できないのではないかなというところが気になりました。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。</p> <p>ちょっと順番が逆になってしまいますが、先ほどの御質問にお答えさせていただきますと、先ほど泉中学校の山上校長先生がおっしゃいますとおり、委員は30人以内をもってということになっております。これは先ほど少しお話がありましたとおり、来年度になりますと、例えば、PTAの関係の方々、校区会長さん、自治会長さん等が役員の任期等で交代の時期になると思います。そのときには、PTAの会長さんについては、もう1年残っていただいて、この1年間の行ってきたところを承知している方が残っていただく。校区会長さんについても、1年残っていただいて、新しい会長さんに1年間引き継ぎながら、1年間残っていただくというような意味で、30人という枠を設けさせていただいております。そんな流れでいきたいなということで考えておまして、それが超えない範囲が30人以内ということで予定をさせていただいている要綱でございます。</p> <p>それとあと、赤羽根中学校の校長先生がおっしゃいました人数の差につきましては、今のところ、こちらでつくらせていただいた名簿案でいきますと、確かに赤羽根校区でいきますと、高松、赤羽根、若戸校区というものがございます。泉というのは泉校区ということで1校区ですので、そこで既に差ができてしまっております。その辺の関係もありまして、今回は自治会長さんのほうに入っている経緯がございます。ただ、それでも泉側のほうが若干今多いよというのが、多分、校長先生のお話だと思いますので、その点を踏まえまして、委員の中にも含まれていくか、部会の中で、この後説明しますが、新たに部会の中のメンバーに加えることができるというものがございますので、そこで加えていきながら調整も図っていききたいなというように事務局のほうは予定をしておりますので、現在のところは御理解いただければと思います。よろしく申し上げます。</p> |
| 委員 | <p>校長先生が人数が違うと言われたけれども、子供たちのために泉校区と赤羽根校区で話をしていくということで、決をとるという話は出てこないと思いますので、十分協議して、皆さん納得した上での話し合いの場だと思うので、人数が多少多い、少ないという、それは特にこだわることはないのではないかなと私は思います。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。この要綱の件につきまして。はい、お願いします。</p> |
| 委員 | <p>1点、確認をお願いします。第1条ですけれども、「赤羽根中学校への統合を円滑に行うために」という文言が記載されておりますけれども、「円滑に」という意味合いは、学校全体配置計画をいただいて持っているのですけれども、その中に「単に統合ではなく、特色ある学校を目指す」という記述があるのですが、この特色ある学校づくりということも含めた意味で、「円滑に」という文言を使っているのでしょうか。その確認です。</p> |
| 事務局 | <p>今、御質問がありました学校全体配置計画の中に入っております特色ある学校を目指すということも、この統合準備委員会の中にも、当然それは入れていくものでございます。この後、御説明させていただく検討部会というものが、部会を4つ設けてい</p> |

| | |
|-----|--|
| | く予定なんです、その中で泉中学校にあった特色あるもの、それから赤羽根中学校にあるものを検討していきながら、一番よりよい形のものはどこなのかというものを検討していくというものも含まれた内容です。よろしくお願いいたします。 |
| 委員 | 「円滑に」というのは、さっさとやるということではないですね。 |
| 事務局 | そうです。それは違います。 ほかによろしいでしょうか。お願いします。 |
| 委員 | 設置要綱（案）ということで表題なんです、何で泉中学校なのか。赤羽根中学校という言葉を入れないのですか。私は赤羽根中学校へ吸収という意識はさらさら思っていないので、同等という立場で、よりよい中学校をつくっていくと。たまたま赤羽根に新しい中学校ができるよという解釈ですので、そういったことで、赤羽根中学校・泉中学校という2つの学校の名前は載せられないのでしょうか。 教育部さんの考え方が、それも含んでいるよということならいいですけども、ぱっと見たときに、泉中学が出ており、赤羽根という言葉が出てこないのでしょうか。 |
| 教育長 | 今御指摘いただきましたことですが、実は野田中学校が田原中学校へ来るときも含めて、野田中学校統合準備委員会という名前で会を行ってまいりました。福江と岬の中学校区の会も伊良湖岬中学校統合準備委員会という名前で来ておりまして、今回も泉中学校統合準備委員会というふうであります、今回はこれで置かせていただいて、今後、ここについてネーミングを変えるかどうかについて検討させていただきますので、御意見を伺いながら進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。 |
| 事務局 | ほかによろしいでしょうか。 それでは、ここで皆様の意見を伺った中でお諮りさせていただきます。 協議事項の1につきましては、原案のとおり決定するという事で御異議ございませんでしょうか。 |
| | (異議なし) |
| 事務局 | ありがとうございます。よろしくお願いいたします。設置要綱につきましては、本日から施行とさせていただきます。 |
| | 《委員長の選出について》 |
| 事務局 | 次に、協議事項の2に移ります。 委員長の選出についてでございますが、委員長につきましては、先ほどの設置要綱にありまして、委員長は設置要綱第5条第2項により、委員の互選によると規定しておりますので、どなたか御意見がございましたらよろしくお願いいたします。 |
| 委員 | 委員長の選出については、指名推薦として、委員長は泉校区コミュニティ協議会長の山内敏久さんを推薦したいと思います。よろしくお願いいたします。 |
| 事務局 | ありがとうございます。ただいま、委員長には泉校区コミュニティ協議会長の山内敏久さんとの御意見がございましたが、いかがでしょうか。 賛同されます方は拍手をお願いできればと思います。 |
| | (賛同者 拍手) |
| 事務局 | ありがとうございます。拍手多数でございますので、委員長には泉校区コミュニテ |

| | |
|-----|---|
| | <p>イ協議会長の山内敏久委員と決定いたしました。</p> <p>それでは、山内委員長には、就任の御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> |
| 委員長 | <p>御指名いただきました委員長をさせていただきます山内です。委員長の就任に際しまして、一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>泉中学校の再編検討委員会におきまして検討を重ねた結果、赤羽根中学で子供たちが学べるよう、泉中学校と赤羽根中学校を統合することといたしました。先ほど、教育長さんからもお話がありましたように、平成33年4月1日の統合を円滑かつ確実に実施していくために地域の皆さん、保護者の皆さん、学校関係の皆さんと一緒に準備を進めていきたいと思います。今から子供たちの明るい未来がつかれるように考えていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>どうもありがとうございました。それでは、ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条に基づきまして、委員長にお願いいたします。</p> |
| 委員長 | <p>それでは、ここからは私のほうで会議の進行をさせていただきます。円滑な議事進行に皆様の御協力をお願いいたします。</p> |
| | <p>《副委員長の指名について》</p> |
| 委員長 | <p>それでは、協議事項（3）副委員長の指名についてですが、設置要綱第5条第3項の規定によりまして、副委員長は委員長の指名によるとなっておりますので、副委員長には、欠席されておりますが、高松コミュニティ協議会長の柴田陽助さんを御指名させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| | <p>《専門部会設置要領（案）及び部会名簿（案）について》</p> |
| 委員長 | <p>次に、協議事項（4）専門部会設置要領（案）及び部会名簿（案）について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>専門部会設置要領（案）及び部会名簿（案）について（資料3により説明）</p> |
| 委員長 | <p>事務局の説明が終わりましたが、何か御意見、御質問はございますでしょうか。</p> <p>私はこの部会では嫌だよとか、あそこへ行きたいだとか、全部の部会に入りたいとか、いろいろ御意見があるかと思います。どうぞ。</p> |
| 委員 | <p>2点お願いしたいと思いますが、資料3の1ページ目のところの、総務部会の主な検討事項の中の2つ目の midpoint のところで、「受入式」という文言が登場しますが、これは私、先ほどこだわって御質問もさせていただきましたし、泉校区会長さんも、吸収ありきではないかというような発言もありました。受入式ということになると、中学校が受け入れるよという、あたかも吸収のように受け取られますけれども、これは「出発式」ではないのでしょうか、という意味合いで使っているんですよ、きっと。</p> |
| 事務局 | <p>はい、そのとおりです。こちらは、こういった検討事項をしていくためのものは、こういったものがあるかどうかのものを入れさせてもらいました。先ほど、玉越会長が言われたとおり「出発式」という名前が変わるという形で全然問題はございません。これを全てやるということではなくて、これらの素材をやっていくか、やっていかな</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>いか。例えば、仮に言えば「記念誌をつくりますか、やめますか」というところも含めて検討部会で協議していきましょうということでございますのでよろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>第1回目ですごくこだわるのは、あくまでも特色ある学校をつくっていくんだと。泉中学校と赤羽根中学校を統合してというようなことを基本的なスタンスに据えていただかないと、あくまで吸収という意味合いが少しでも出ると、それは違ったものが出てくるのではないかと危惧をして確認をさせていただきました。</p> <p>それから2点目です。PTA部会の名簿（案）ですけれども、ここは学校関係者は全てで3人、教頭先生が入ってみえる。ここにはあくまで責任者の赤羽根中学校長の伊藤正徳先生も入っていただかないと、責任ということであるので、これも御検討いただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございます。先ほど1点目の総務部会の件につきましては、玉越会長がおっしゃられるとおり、あくまでも両方が一緒になって新しい学校をスタートさせるんだという意味合いのものでございますので、検討部会の中でいろいろなものを調整していただければと思います。</p> <p>それから2点目のPTA部会の名簿（案）につきましては、赤羽根中学校の校長先生の伊藤正徳校長先生のほうにも入っていただいたらどうだというお話でございますが、校長先生、どうでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>僕は「行け」と言われるところは行きますので、よろしく願いします。</p> |
| 事務局 | <p>では、あわせて委員さんに決めていただいて、その辺を含めて了承いただければメンバーに含めさせていただけることになります。</p> |
| 委員長 | <p>今いろいろな意見がございました。総務部会での検討事項の文言の修正、それから大変御足労ですが、赤羽根中学校の校長先生、全ての会に入っていくことになると思いますけれども、どうでしょうか。これをお願いしてよろしいですか。</p> |
| | <p>（異議なし）</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。校長先生、大変御足労ですがよろしく願いします。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>ないようですので、お諮りします。</p> <p>協議事項（4）専門部会設置要領（案）及び部会名簿（案）については、原案を一部修正ということで御異議ございませんか。</p> |
| | <p>（異議なし）</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。各専門部会については、原案に基づき検討・協議を実施してまいりますので、事務局は修正をしておいてください。お願いします。</p> |
| 事務局 | <p>わかりました。</p> |
| | <p>《部会長の任命について》</p> |
| 委員長 | <p>次に、協議事項（5）部会長の任命に移ります。</p> <p>部会長につきましては、委員長が任命するということですので、先ほどお認めいただいた専門部会員の中から任命させていただきます。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>お諮りします。</p> <p>総務部会の部会長に泉中学校の山上校長先生、 P T A部会の部会長に赤羽根中学の樽谷教頭先生、 学校運営部会の部会長に赤羽根中学の伊藤校長先生、 通学・安全部会部会長に泉校区の江比間自治会長の伊藤会長にお願いしたいと思 いますが、よろしいでしょうか。</p> |
| | (異議なし) |
| 委員 | 1 ついいですか。P T A部会に赤羽根の校長先生を入れたものですから、部会長は赤羽根の校長先生ではいけないのですか。 |
| 委員 | 2 つの部会を兼ねてよいならば、構わないです。 |
| 委員長 | その辺、どうでしょう。今まで2 つの部会を受け持つということは。 |
| 事務局 | <p>これまでの野田だとか岬につきましては、兼務はございませんが、部会の構成が各委員さんの中で役割をしていますので、伊藤校長先生がよろしければ、かけ持ちをしていただく形をとっていただいても構いません。同じ日に同じ時間帯で同時に検討部会をする場合も出てくるかもしれませんが、そういったときでも結構ですし、もしかしたら時間帯をずらして行うこともできるかもしれませんが、その辺、また調整をさせていただきながらという形でできますので、その辺は、かけ持ちでも、こちらのほうは支障はございません。</p> <p>以上です。</p> |
| 委員長 | 皆さん、どうでしょうね。部会長さんだから、部会員の意見の取りまとめをするということですので。 |
| 委員 | 基本的にうちの教頭も入っておりますので、両方僕が責任とる形で運営するということがいいと思います。 |
| 委員長 | それでよろしいですかね。P T A部会の部会長さんを赤羽根中学の伊藤校長先生ということで訂正しておいてください。 |
| | 《今後のスケジュール（案）について》 |
| 委員長 | 次に、協議事項（6）の今後のスケジュール（案）について、事務局に説明願います。 |
| 事務局 | 今後のスケジュール（案）について（資料4により説明） |
| 委員長 | ありがとうございます。ただいまの説明、平成33年3月末までのスケジュール、A3の横版で皆さん見ていただいたと思いますが、御意見、御質問等がございましたら、どうぞ。 |
| 委員 | この平成33年4月から予定の立つものはあるんですか。 |
| 事務局 | 平成33年4月、要は赤羽根中学校への統合スタートということからですが、今検討を考えているのが、その後も学校に行く子供たちのケアだとか、その後、子供たちが、冒頭に教育長が申し上げたとおり、順調に生活ができているかどうかという検証をすることは必要だと思います。ただ、要はそういったものを、この準備委員会にそ |

| | |
|-----|---|
| | のまま引き継ぐかどうかというのは、今後検討していきたいと思いますのでよろしくお願ひします。 |
| 委員 | 受入式とかも、出ていたと思うんですけども、平成33年4月以降の話になりますよね。 |
| 事務局 | そちらにつきましても、先ほど玉越会長が言われましたように、出発式だとか、そういった名前になるかもしれませんが、受入式というのは、あくまでも平成33年4月1日になってからやるというものでもなく、例えば、その前の2月、3月に受け入れをするというような形のを、一度学校に来てやるという形のものもあるかと思ひますので、そういったものを部会で、その時期にやるか、やらないかというものを含めて検討していきたいというものでございます。 |
| 委員 | わかりました。 |
| 委員長 | ほかにもございますか。どうぞ。 |
| 委員 | 確認ですが、学校運営部会とPTA部会、始める時期がずれているので、これは自分にとっては非常にありがたいかなと思ひますので、基本として本年度、結局、学校運営部会は検討とあるんですが、1月に一応、準備委員会に二重丸がついているということは、ここまでに何か少なくともたたき台になるようなものは出したほうがよいという、そういう意味合いですかね。 |
| 事務局 | 学校運営部会でいいますと、この中にありますとおひ事前交流だとか学校の行事、修学旅行だとか体育祭とかがあると思ひますね。あと、服装、生徒の制服だとか部活動、そういったものを決めていく中で、おそらくこれは学校間といひますか、赤羽根中学校と泉中学校のほうで、今両校が持っているものを出し合っ、これをどうしていくかというようになると思ひますね。そういった内部的な、簡単に言うと検討部会のさらに下の内部調整といひますか、そういったものも入ってくると思ひますので、それらを含めて検討していく時期を、これぐらいからしていついていただいて、翌年の1月予定の統合準備委員会を開いたときには、現在こういったところまで話し合ひをしていますというような報告ができるものがあれば、していただきたいというスケジュールでござひます。 |
| 委員 | 基本は既に始めているので、報告はできるのですが、ただ、要は学校運営部会を開いて、一応そこで認めてもらっていかないと部会の意味がないから、あくまで小中の中だけで進めるというのはまずいかなと思ひますので、そういう意味合いでいいですね。 |
| 事務局 | そうです。そういうことです。 |
| 委員長 | よろしいですか。どうぞ。 |
| 委員 | 今後こういう話し合ひなんですけれども、今日は夜開催なんですけれども、基本夜とか昼とか、そういうのは特に関係ないんですか。 |
| 事務局 | 本日は夜開催させていただきました。今回も時間的なものが何時がいいかというのもあったんですけども、今後この準備委員会を含めて検討部会につきましても、いつごろ開催するというものが部会長さんから、これぐらいの時期にやりたいなという |

| | |
|-----|---|
| | <p>話を伺った後で、委員さんのほうに、先にまず、「いつごろを予定させていただきませんが」ということと、「時間は昼がいいですか、夜がいいですか」というのを聞きます。当然お仕事のある方もおりますし、学校の先生等も授業もあって、その関係もありますので、全員が出られる日がなかなかないかもしれませんが、一番委員さんの中で出席が多いというところの時間帯を調整させていただきたいと思いますので、こちらで夜7時からとか、午後2時からということは決めませんので、皆さんの意見を伺った中で決めさせていただきます。</p> |
| 委員長 | <p>よろしいですか。</p> |
| 委員 | <p>はい。</p> |
| 委員長 | <p>ほかにございませんか。</p> <p>私がちょっとしゃべってはまずいと思うんですけども、通学・安全部会のほうで、今想定されている子供たちが通ってくるルートに非常に危険があるということで、予定されているところが県道、愛知県が管理しているところですので、その改修歩道整備事業というのが既に動いているんですけども、準備委員会として要望を出すのに、部会で一回やってもらって、委員会に出さないともまずいと思うんですけど。これは二重丸が8月、9月にないので、どうしたらいいかなと思って。8月、9月に出さないと、来年の県の要望に間に合わなくなってしまうんだよね。</p> |
| 事務局 | <p>今、丸がないですが、通学・安全部会のほうの検討部会は、なるべく早い時期にやりたいと思っています。こちらのほうでも、その部会を開いた中で、今考えられる通学ルートはどこになるのか。それからもっと原点に戻って、本当にスクールバスなのか。何台必要なのかというものを、それと先ほど委員長が言われましたとおり、その安全策はどうかというものを含めて、一度大筋の案が、たたき台ができないことにはということがありますので、なるべく早い時期に検討部会の1回目を立ち上げたいと考えております。</p> |
| 委員長 | <p>ほかにありますか。</p> <p>ないようですので、専門部会については、このようなスケジュールでいきますが、先ほど私が申しましたように、準備委員会の二重丸のないところでも、随時やっていくということで御承知願いたいと思います。</p> <p>次に、その他ですが、事務局から何か連絡事項はございますか。</p> |
| 事務局 | <p>事務局から2点お願いいたします。</p> <p>まず1点目ですが、皆さんのお手元の資料の一番最後につけさせていただいております参考というものがあります。これは伊良湖岬中学校の統合準備委員会だよりというものを、第1号と第2号ということで参考に添付させていただいております。これは統合準備委員会を開催するたびに、教育委員会の事務局のほうで作成をさせていただきまして、関係する校区、学校に対しまして、今統合準備委員会ではどんなことを協議・検討しているのか、どういったことが決まってきたのかということ、このたよりで知っていただくために全戸配布をしております。</p> <p>また、あわせて市内全ての市民館のほうにもメールにて、このデータをお送りさせ</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>ていただいて、他の地域の市民の方にも周知できるようなことでお知らせをさせていただいております。</p> <p>この第1号といいますか、伊良湖岬中学校の統合準備委員会だよりの第1号では、本日と同じような内容になるかと思いますが、委員長、副委員長、各部長が決定したこと、どんなことを検討していくかなどについてお知らせをし、それから第2号につきましても、各部会で協議・決定されたことなどをお知らせしているというような流れでございます。</p> <p>なお、伊良湖岬の統合準備委員会につきましては、先日7月13日に第3回目の準備委員会を開催しております。新年度になり、委員の交代等もありましたので、これまでの経緯等の話し合いが行われました。本委員会におきましても、泉中学校統合準備委員会だよりのという、タイトルは別にしまして、本日の委員会を第1号として作成して発行してまいりたいと考えております。</p> <p>2点目は、次回の開催日についてでございます。現在のところ、来年の1月下旬ごろを予定しておりますが、若干先になりますので、また時期が近づいてまいりましたら、こちらから改めて開催の御案内をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からの2点は、以上でございます。</p> |
| 委員長 | ありがとうございます。先ほど私が言った、近々のうちにやるというのは。 |
| 事務局 | 私から伊藤康弘通学・安全部会長に日程の調整をさせていただいた上で、また御案内を差し上げます。 |
| 委員長 | 委員の皆様から全体を通しての御質問、御意見がありましたら、この際ですのでお願いします。 |
| 教育長 | 感想等も含めて、せっかくの機会ですので。意見といとなかなか言いにくいというのがありますので、感想もいただけたらと思います。感じた部分で、こういうことをしたらどうかも含めて。 |
| 委員 | お願いしたいのですが、次回の準備委員会のときに資料としてお願いしたいのは、現在、野田中学校が田原中学校に統合されて、もう通っているわけですがけれども、成果と課題ですね。生の声を資料としてお出しただけでないでしょうか。生の声というのは、生徒、保護者、地域の方々。生の声として特に課題について、どういう課題があるのか。今現在、通学している生徒たちの課題というか問題というか、困り事というか、そうした生の声をぜひ出していただきたいと思います。お願いします。 |
| 委員長 | ほかに、何でも結構です。どうぞ。 |
| 委員 | 現在の生徒さんなり、父兄さんなりに、意見のアンケート的なものをとる予定はありますでしょうか。そういうのも参考意見として入れてはどうかと思うんですけども。 |
| 事務局 | それは野田の地域の子が田原中に通っている子に対してですか。 |
| 委員 | ではなくて、泉中学校と赤羽根中学校の関係者ということで。今言われた生の声ということで、それに関係しているんですけども。そういうアンケートをとって、 |

| | |
|-----|---|
| | 準備委員の参考意見にしてはどうかと思うんですけども。 |
| 事務局 | 現在通っている子供さんですか。 |
| 委員 | そうです。これから統合される関係の生徒さんなり、父兄さんなりを。 |
| 事務局 | そうすると、今の中学生ではなくて、統合する時点のですか。 |
| 委員 | 現在もそうです。これからの方も。 |
| 事務局 | 小学校3、4、5年生になるわけですが、児童というよりも親ということでしょうか。 |
| 委員 | 親御さんの方が関係が深くなってくると思いますけれども、そのほうが準備委員としての準備として、意見があったほうがいいかなと。 |
| 委員長 | そういうのは各部会で、いろいろな内容を、例えば、安全のことをどこのルートを通してスクールバスで行こうか、ぐるりんバスを使おうか、父兄がちょっと送ろうとか、そういったいろいろな案があると思うんですけども、そういったことを決めるのに、それじゃあ、みんなにアンケートをとってみようかという案が出れば、そこでやればいいというふうに私は思うんですけども。ここでみんなで決めなくても、各部会でそれぞれ出して、あまりオープンにどんと出しても、アンケートを受け取った人は書きようがないと思う。例えば、通学路についてだけの質問を出して書いてもらうとか、そういった形でやったほうがいいのかというのを、私は個人的にはそう思うんですけども。そういうのは、今までの統合のところもないんだよね。 |
| 事務局 | そういった準備委員会の中でアンケートを地域の方といいますか、校区等にすることはございません。事務局のほうの意見といいますと、逆にこれまで再編検討委員会で時期と統合先が決定したんだよというところまでは、地域の方は知っていると思うんですね。言い方はあれですけども、皆さんにこれから検討準備をしていってもらうという、すり合わせをしていくということの中で、アンケートを校区等に出してしまうと、また違う意見等が出たときに、収集がつかなくなるおそれがないかなという心配がちょっとあります。 |
| 委員長 | ちょっと部会の中で検討してみてください。 ほかにございますか。 |
| 教育長 | では私のほうから。第1回の会ということで、皆さん、ちょっとしゃべりにくい部分もあったかなというように思います。先ほどもアンケートをどうかということにつきましては、やらないということではありませんので、また部会等でやるなり、必要に応じて考えていきたいと思えます。皆様方の声が、今回はここに集まっていただきました代表という形にもなっておりますが、地域の方の声を聞いてきていただいても十分ですし、いろいろな面で多くの意見を出しながら、最終的に赤羽根中学校と泉中学校が一緒になってよかったなという形を、今から3年ともう少しかけてやっていますので、そこら辺は今まで野田の中学校、岬の中学校が福江へ行こうとしているときに、時間的にも十分ありませんが、もっと丁寧にじっくりやれる部分もあるかと思えます。またいろいろ声を出していただいて、家に帰ってから思い出して、これはどうかということがありましたら、遠慮なく教育委員会のほうにお伝えいただいて、 |

| | |
|-----|---|
| | <p>できるだけ多くの声がうまく反映して、ベターよりもベストを目指していけるようにと思います。そんなことで、地域でこういう声があったよということも含めて、いろいろな意見が交流する中で、いい形をみんなで作っていき、最終的に子供たちが笑顔で学校生活を送れるようなことをイメージしながら進めていけたらなというように思います。</p> <p>本日は大変お疲れのところありがとうございました。</p> |
| 委員 | <p>先ほど、アンケートの事を言われたんですけども、例えば、通学路云々ということは部会のほうが決めていいことだと思うんですけども、例えば、運営部会等で部活とか服装とか、そういうものは、やはり子供の意見もあると思うので、そういうことについては、子供のほうの意見も聞いていると思いますけれども、そういう意味でアンケートをどうなのかなということは考えたほうがいいのかなと思います。</p> |
| 事務局 | <p>その辺も含めて学校のほうの部会がございますので、学校運営部会の中で、恐らくもう既に学校間同士でも動いていただけたところですので、学校同士で「はい、決めた」ではございませんで、当然部会の中でもお諮りさせていただきながら、なかなかまとまらないようなものがあれば、当然両校で、またそれをどのような形で決めていくかということも進めていきますので、意見としても当然あると思いますのでよろしくをお願いします。</p> |
| 委員長 | <p>ほかにございますか。</p> |
| 委員 | <p>P T Aの会長とか副会長の任期は1年で終わるんですけども、ここの準備委員会の任期というのは2年ですか。</p> |
| 事務局 | <p>準備委員会につきましても、ざっくり言うと平成33年3月31日までなんですけれども、例えば、藤村さんがP T A会長が来年終わるということだと、会長さんにつきましては、申しわけないですが、もう一年、前P T A会長という役で準備委員会に残ってくださいと、部会のほうも引き続き残ってくださいということです。ですので1人増えるという、来年度のP T A役員さんプラス前会長さんという構成になります。</p> |
| 委員 | <p>それでは2年ということですね。</p> |
| 事務局 | <p>そうですね。はい。</p> |
| 委員 | <p>そうすると、例えば、今年度と来年度をやったら、僕たちの参加はなくなってしまうと。</p> |
| 事務局 | <p>なくなるか、部会の中でオブザーバーとして、さっき言いました、関係者として入っていただくことはできます。</p> |
| 委員 | <p>さっきの4つの部会に所属するのは平成32年度いっぱいまで？</p> |
| 事務局 | <p>そうです。準備委員会の中には、例えば、藤村さんと言えば平成29年度と30年度までが実質の任期になります。その後、準備委員会の中には名前はないですが、部会のほうに関係者として入ることはできますよと。</p> |
| 委員 | <p>別に自分がやりたいと言えば入るし、やりたくなければ2年で終わるということ？強制は今年度と来年度の2年間で、2年間はやってくださいよ。その次の年は？</p> |
| 事務局 | <p>そうですね。例えば、2年ですと。その後は簡単に言えば、声がかからなければ2</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>年で終わりますよと。その次の年の委員さんが決まりますので、委員さんの中で、「やはり藤村さんにも、ことしもいてもらおうよ」というような部会の中で話があったときには、3年目に突入する可能性もありますよという。藤村さんが「嫌だよ」と言えば、入らないよということです。</p> |
| 藤村(浩)委員 | それは自分に選択肢はあると。 |
| 事務局 | あります。強制ではないので。 |
| 藤村(浩)委員 | <p>興味があれば、やらせてと言えればあれだし。</p> <p>なぜかという、そもそもこの会議に、ちょっと誰とは言えないけれども、出たいという人がいるというのを聞いたことがあるんですね。だけでも、この会というのは市が誰に出てくださいよと決めたわけではなくて、地域の人が、誰に出てくださいよということで決めたということで聞いているので。僕は、やりたくない、やりたいという問題ではなくて、そこも例えば、今年、来年と一生懸命しゃべったとしても、その次の年に、「あなたは要りませんよ、来なくて結構です」と言われたときに、2年間の意見は何だったのかということになると思うんですね。実際に統合すれば、平成33年4月からなので、今年、来年で、「じゃあ、あなたさようなら」というときに、その次の年から、また違う人がやるのでしょうけれども、この何年間みんなの意見が、共通して統合のときまでしっかり行けるのかどうかという不安が僕はあるかなと思います。</p> |
| 事務局 | そうですね。役職としては2年になります。その後に入ってください部会の中に、逆に言えば、3年8カ月中に入って意見を出し合っていくんだということであれば、当然お願いしますということになりますので。 |
| 藤村(浩)委員 | そのお願いしますというのは、誰が決めるんですか。 |
| 事務局 | こちらのほうが、部会をまた委員さん等を決めるのに当たって意見を伺います。ですので、最初の準備委員会の中にはいないかもしれませんが、部会を始めるに当たって、その意見をそのときの現職の委員さんにお伺いして決めさせていただきます。それで声かけをさせてもらうという流れになっております。 |
| 委員長 | <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、以上をもちまして第1回の泉中学校統合準備委員会を閉会いたします。長時間にわたりお疲れさまでした。</p> |